

2022年3月29日

令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（スリナム）
スリナム小児がん患者治療体制改善計画に関する署名式

2022年3月29日、令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力である「スリナム小児がん患者治療体制改善計画」の署名式がオンライン形式で行われました。

被供与団体であるパラマリボ大学病院は、日本政府が供与する255,923米ドルの無償資金を利用し、小児がん患者のための専用病室及び診療室を建設します。これにより、同医療機関における医療の質と治療効果の向上が期待されます。

署名は、鎌田参事官及びパラマリボ大学病院（AZP）のレダン最高経営責任者（CEO）が行い、パラマリボ西部ライオンズクラブ（LCPW）のベルグラフ代表も立会人として贈与契約に署名しました。また、式典には、ホッフマン・ライオンズクラブ地域代表、パダラート在スリナム日本名誉総領事、ソムワルPWLC事業責任者らが出席しました。

鎌田参事官は挨拶の中で、本件はスリナムの子どもたちにとって重要な計画であり、本件に関わる全員の努力を賞賛する、両国は基本価値観を共有し、本件を通じて二国間の協力関係が一層発展していくことを期待すると述べました。

レダンCEOは、本件による支援は、2018年に世界保健機関（WHO）が発表した、世界の小児がんの生存率を2030年までに少なくとも60%に軽減することを目指すというグローバルイニシアチブを前進させ、スリナムが同目標を達成するための起爆剤となるものであり、言葉だけでは謝意を伝えきれないと感謝の意を表明しました。ベルグラフ代表及びホッフマン地域代表は、小児がんへの対応の必要性を強調し、本件に関与する全ての人々に祝意を表するとともに、日本政府への支援に感謝しました。

日本政府は、今後ともスリナム政府及び国民を支援するとともに、両国の友好関係と相互理解を深めるよう努めていく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp





レダンCEOによるスピーチ



ベルグラフ・ライオンズクラブ代表によるスピーチ



ホッフマン地域代表によるスピーチ



鎌田康彦参事官による贈与契約の署名



ソムワル・ライオンズクラブ事業責任者による案件の説明



リエヴェルド・ウィンストン司会進行役



案件実施チーム



署名式への出席者

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

